

NICOGRAPH 論文コンテスト併催

「デジタルミュージック・コンテスト」作品募集要項

この度、芸術科学会 (<http://www.art-science.org/artsci/>) では、NICOGRAPH 論文コンテストを平成 17 年 11 月 11 日（金）に、新線が開通しアクセスの良くなる筑波大学で行います。

NICOGRAPH は、従来の CG やマルチメディア関係の論文コンテストとして長い歴史を持ち、日本の CG・マルチメディア関係者の最も権威ある恒例行事となっております。

特に、今年は NICOGRAPH 筑波大会における記念行事として、芸術科学会初の試みとして、下記の条件で「デジタルミュージック・コンテスト」を開催します。優秀作品には、11 月 11 日開催の NICOGRAPH 論文コンテストの懇親会にて、受賞式を開催し賞品の授与を行います。奮ってご応募ください。

なお、芸術科学会では、インタラクティブ作品のコンテストである Diva 展を春季大会において実施し、また昨年同様、CG 作品コンテストに関する応募を近日内に発表予定であり、デジタルミュージック・コンテストはその 3 本目の柱とすべく考えております。

■ 応募内容

1. 自由作曲部門 芸術あるいは技術的な点で、意欲的に先進的手法を取り入れた作品を募集致します。長さは、5 分以内が望ましい。個人またはチームを組んだ、映像付き作品も歓迎します。

2. サウンドトラック部門 「L-sysPulse」に合わせた音楽を作曲する。

映像は、以下の URL からダウンロードして下さい。

<http://artsci.serveftp.com/nico/L-sysPulse.mp4>

<http://artsci.serveftp.com/nico/L-sysPulse.avi>

（本映像は、山口大学荒川さん・熊谷先生の提供によるものです）

■ 応募スケジュール

2005 年 10 月 1 日（土）までに、下記の WEB

<http://www.img.cs.titech.ac.jp/~rocky/nico/>

より申し込み下さい。申し込みされた方は、10 月 10 日（月）までに、作品タイトル、

氏名、所属、作曲のポイント、使用機器、などを A4 の 1 枚にまとめて、担当 片岸

(katagisi@risk.tsukuba.ac.jp) まで、電子メールへの添付により送付すること（但し容量は

1Mバイト以内とすること）。また作品（AVIファイル等）は、FTPサイトを指定するか、電子メールでの添付（但し 1M以内）にするか、CD-ROMに収め、郵送にて下記住所：

〒305-8573 茨城県つくば市天王台 1-1-1

筑波大学 大学院 システム情報工学研究科（リスク工学専攻）片岸一起（かたぎし かずき）宛て

送付すること。10日の深夜にて締め切ります。

送付された作品を厳正に審査し、10月18日までに、各部門とも上位5作品の合計10作品を選定し、11月11日のNICOGRAPH（筑波大学）にて、約5分間のプレゼンテーションを行っていただきます。最終的には、当日9:30からのプレゼンテーションによる作品の審査により、最優秀作品の選定を行います。

プレゼンテーションは、筑波大学総合研究棟B棟1F 総B0110公開講義室で開催致します。また、最優秀作品は、当日、17時から大学会館ホールで開催される「驚異のデジタルサウンド・コンサート」に続いて、表彰および作品披露を致します。各会場の使用機器の詳細に関しましては、後日web pageに掲載させていただきます。

最終作品披露には、市販のCDプレイヤーで再生を確認できる・確認したCD(CD-DA, Enhanced CDなど)をご用意下さい。

■応募料

無料。但し、A41枚の原稿が論文集に掲載された場合は、NICOGRAPH論文コンテストの論文集（参加費込み3,500円）の購入をお勧めします。

■応募資格

社会人または学生による個人のオリジナルな作曲作品であること。

■審査基準

作品の質、オリジナリティ、新規な感覚性、映像との合致性などから評価します。

作品説明では、特に、応募作品がどのような感動を喚起させたいのかという創作意図をアピールして下さい。

■審査委員（敬称略）

寅市和男（委員長）、石川智治、伊藤貴之、大村哲弥、片岸一起、春口巖、平賀譲、中嶋正之

■その他

詳細や最新情報は、芸術科学会ホームページ（<http://www.art-science.org/artsci/>）のNICOGRAPHの欄に掲載するので随時参照のこと。